

清流のほとり



令和7年3月3日(月)発行

園長 津田 将美 寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです！

つながる 想い

年長さんの保育参観発表会の劇にあこがれの想いを抱き、自分たちの発表に願いを膨らませていった年少さんと年中さん。昨年の12月のことです。

それから、年長さんにダンスを教わったり、自分たちでやりたいことを相談して決めていったりと、願いは更に大きくなり、みんなの夢となりました。

夢に向かっての活動は、わくわくし希望にあふれるものです。

「あ～、たのしみだな」

1月30日に行われた年少組の保育参観発表会は、そんな言葉でスタートしたそうです。初めての発表会で、当初は慣れない舞台や周りの環境に戸惑った子もいたようでした。ただ担任や支援教諭が一人ひとりの願いや困り感に寄り添い、その子のペースや目的意識を大切に支援し続けたことで、少しずつ少しずつ、個々の良さを発揮できるようになってきました。そして、本番に向けた通し練習をする度に、子どもたちが成長してきた様子を担任がうれしそうに周りに発信していました。

本番では、大勢の前で緊張しながらも自分の役をやりきる子、練習通りに伸び伸びと自己表現をする子等、その子なりの成長を感じられる発表となりました。終了時には、

「あ～、たのしかった！」

そんな声が、はっきりと聞こえてきました。



2月14日には年中組の保育参観発表会が行われました。「もうすぐ年長さん」ということを感じさせ、それでもまだかわいらしさが残る一人ひとりの個性が輝く発表となりました。

演技中におうちの方に手を振る子が何人もいて、やはり自分たちががんばってきたことを見てほしいという願いと一人ひとりが

家庭で愛されていることを強く感じました。多くの参観、ありがとうございました。

演技を終えた後の、子どもたちの誇らしげな顔が印象的でした。

実はこの発表会には、つづきがあります。年長組、年少組と無事全員参加で行うことができましたが、年中組の発表は残念ながら欠席がありました。

「すべての子に、発表の場を経験させたい。家の人に観てもらいたい。」

という担任の強い想いは、子どもたちの願いへとふくらみ、2月26日に2回目の発表会が行われました。個が活かされ、誰もが大切にされる想いがつながりました。



年長組の2度にわたるお別れ遠足も、子どもたちの主体の中、無事に終わりました。年長組を中心に、多くの保護者の皆様が、その応援団となってくれました。

本当に、ありがとうございました。

多くの人々の想いや願い、そしてやさしさや善意が
つながる中で、素敵な子どもたちが育っています。

